



札幌延伸までのスタート地点である地区を担当する北斗鉄道建設所の皆様
(伊藤所長は下段右から2番目)

あした 新幹線 をつくる

Vol.12

鉄道・運輸機構は、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設主体として、北海道新幹線の整備事業を進めています。



YouTube
公式アカウント

HP「JRTT
PROJECTS」
(北海道新幹線)

公式
ツイッター

〇三〇年度末の開業を目指す北海道新幹線の新函館北斗・札幌間の線路延長は、約二百二十キロメートル。JRTTでは、札幌市に北海道新幹線建設局を置き、各地域に配置した七つの鉄道建設所において、それぞれ担当エリアを分けて仕事を進めています。

「〇」と話しています。

同建設所では、今年一月、その渡島トンネル(台場山)工区で道内外から子ども四名を含む二十六名が参加し、トンネル工事現場見学が行われました。これは、「見て・知って・学ぼう！北海道新幹線見学ツアー」※1の一環として実施されたもので、当日は伊藤所長の案内のもと、参加者たちは普段目にするのではない現場での坑内ウォーク、トンネル工事の最前線である切羽の見学、重機の試乗などを体験し、トンネル工事のスケール感を体感しました。ツアー終了後、参加者たちから「工事の裏側を見て、開業がさらに楽しみにになりました」など、新幹線建設に携わる者にとって、励みとなるメッセージが多数寄せられました。



坑内ウォーク



重機の試乗体験

ただきながら、これからも安全を第一に仕事を進めてまいります」と話しました。

二〇二三年度には、道南地域(北斗市・長万部町)の工事を所管する部署の一部を札幌市から北斗市に移管し、既存の北斗鉄道建設所等と一体となって業務を遂行する体制を整備する予定です。これにより、地域密着型の組織体制を構築し、より円滑な新幹線建設の実現を図っていきます。

文／本間 吾里砂

(※1) 旅行企画・実施／JR北海道、共同企画／北海道新幹線建設促進期成会